

海洋環境を守るため、限りある資源を守るため、

今こそ脱使い捨て プラスチック

プラスチックは、生活を便利にする一方、ごみの散乱や
ポイ捨てにより、河川を通じて海へ流出しています。

このままでは2050年までに、海中の
プラスチックの量が魚の量を
上回ることが予測されています。

日本は1人当たりの
プラスチック製容器包装の
廃棄量が世界第2位。

京都市民も1人当たり、
年間約220枚のレジ袋、
約180本のペットボトルを
消費しています。

海洋環境を守るため、
限りある資源を守るため、
使い捨てプラスチック
製品の利用を減らして
いきましょう!



プラスチックごみ削減に向けた動き

我が国のプラスチック資源循環戦略

- ・2030年までに、使い捨てプラスチックを累積で 25%排出抑制
- ・2030年までに、プラスチック製容器包装の6割を
リサイクル又はリユース
- ・レジ袋の有料化義務化（無料配布禁止等）
などを推進することが示されました

G20大阪サミットで
2050年までに、プラスチックごみによる
新たな海洋汚染をゼロにすることを目指す
「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」が
共有されました。

裏面にすぐできる取組を
ご紹介!

会社でできる! プラごみ対策

✓使い捨てプラスチックは使わない

お買い物は
マイバッグ携帯で



レジ袋は
もらわない

お出掛けは
マイボトル携帯で



おいしい
温度が保てる!

会社では
ペットボトルの
代わりにコップ等を
使おう



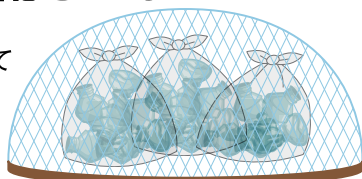
環境にやさしい
水道水を飲んで
ペットボトルを
減らそう

イベントで
リユース食器を使おう



✓ごみを散乱させない

ごみが飛ばないように
保管箱・ネットを使って
出そう



取組が広がっています

環境に配慮した素材を使うなど、事業者の
皆様の取組が「#プラスチックスマート」で
SNSに投稿されています。



Plastics
Smart



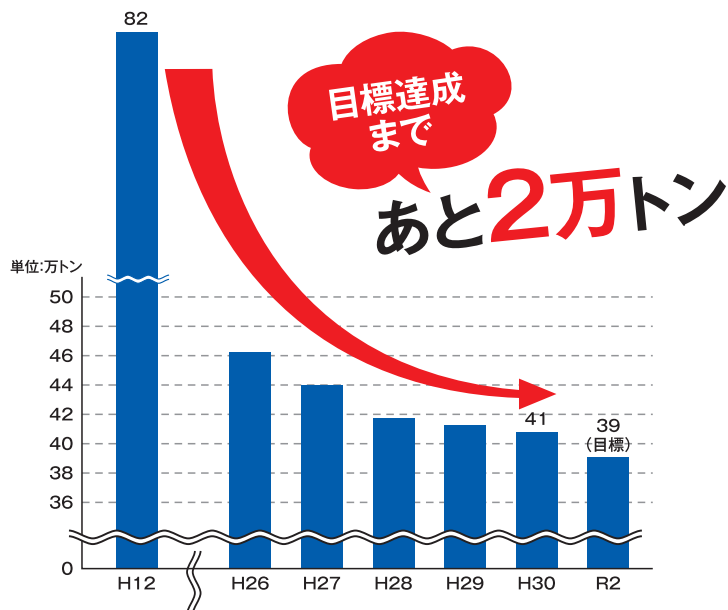
京都市のごみ量の目標まで

今が正念場

皆様の御協力・御尽力により、京都市のごみ
量が41万トンを切り、ピーク時(平成12年度)
から18年連続での減少となりました。

減量ペースは依然として鈍化しており、令和2
年度までにピーク時の半分以上39万トンの実
現に向けて、あと2万トン減らす必要があります。

引き続き、紙ごみの分別徹底や食品ロス・使
い捨てプラスチック等の削減に御協力をお願い
します。



ニカド
電池



ニッケル
水素電池



リチウム
イオン電池

産業廃棄物で処理

充電式電池の処理は適正に!

平成31年3月20日、東北部クリーンセンターで、分別されずに燃やすごみに
混入したカメラに内蔵されたリチウムイオン電池が発火したとみられる火災が
発生しました。

事業所で使われたリチウムイオン電池など、充電式電池を処理する時には、
しっかり分別し、収集業者と相談のうえ、産業廃棄物の処理施設で適正に処理
してください。

事業系一般廃棄物収集のご相談は京都環境事業協同組合

TEL.075-691-5517

【受付時間】
13:00~17:00
(月~金)

無許可の業者(管理会社や清掃業者等)が他人のごみを収集運搬・処分することは違法です。

発行:京都市環境政策局ごみ減量推進課

京都市中京区河原町二条下の一之船入町384番地ヤサカ河原町ビル8階

TEL.075-366-5090 / FAX.075-213-0453

(事業ごみ担当ダイヤル)